

2020 年度事業 中間評価報告書（実行団体）

評価実施体制

内部／外部	評価担当分野	氏名（非公開）	団体・役職
内部	事業全般の進行管理、スタッフ雇用、スタッフ業務管理		テラまちコネクト代表
内部	評価全般の進行管理、評価報告書作成		テラまちコネクト副代表・事務局長

A) 事業のアウトカムの進捗状況の評価

① 短期アウトカムの進捗状況

指標	目標値・状態	達成時期	これまでの活動をとおして把握している変化・改善状況
人の役に立った、人から感謝された、人から認められた等の項目について自己診断した結果	おかあさんたち一人一人の状態に合わせて得意なこと、好きなことが発見できるしくみができていて、結果、おかあさんたち自身が自分の得意なこと、好きなことが仕事につながる職場だと理解している	2023 年 2 月	テラまち雑貨店で働くおかあさんたちだけではなく、自分の得意なことを活かしたワークショップの開催や店舗運営の支援、商品開発支援など雑貨店での仕事以外の関わり方をしてくれるおかあさんたちが複数名現れている。
製造と販売に必要なスキルを整理し、例えば話す、書く、伝えるなどのスキルそれぞれの得意を自己診断した結果	おかあさんたちが主体的に動き働けるような環境としくみを整えることで、おかあさんたち自身が仕事に誇りや愛着を持ち、自信をもって日々スキルアップに取り組んでいる	2023 年 2 月	テラまち雑貨店の運営について、おかあさんたちから積極的な提案が日々出されるようになってきている。働いているおかあさん同士のコミュニケーションの促進に向けたカレンダーの共有や日々起きたことを書き残すノートの設置などである。

<p>自身の変化や成長の実感を文章などで表現することができ、発信することができるか。自分の経験してきたことを自分の強みとしてきちんと人に伝えることができるか</p>	<p>おみやげづくりや販売など、企画段階からおかあさんたちと一緒に進める、新たなメンバーが入ってきてもおかあさんたち同士で事業継続できるように、マニュアルづくりや地域のネットワークづくりをおかあさんたちと一緒に進めることで、おかあさんたちが新たな働き方（起業や就業）にチャレンジしている</p>	<p>2023年 2月</p>	<p>新たなおみやげづくりの販売やテラまち雑貨店に気軽に立ち寄ってもらえる工夫をおかあさんたちが自ら創意工夫するようになってきている。例えば、ワークショップ形式でのハンドドリップコーヒーの販売や井波彫刻の模様を絵にしたポストカードの販売などである。</p>
<p>多くの人の共感を呼ぶ写真や文章で事業の内容や地域の魅力をおかあさんたち自身が発信できているか。地域の人たちから声をかけられたり、おかあさんたちがメディアに取り上げられるようになっているか</p>	<p>おかあさんたちが主体となって、事業の内容や地域の魅力を発信し、地域の中で事業の認知度があがることで、おかあさんたちの南砺市や井波に対する地域愛が高まっている</p>	<p>2023年 2月</p>	<p>これまでは Instagram を中心とした SNS での情報発信は事務局で対応していたが、おかあさんたちが積極的に写真の撮影や文章の作成をするようになり、ほぼ毎日 Instagram が稼働するようになった。</p>
<p>地域のつながりシートでつながりを可視化した結果。地域のネットワークがどれだけ充実しているか、実際におかあさんたちが仲間を自分たちで呼んできたかどうか</p>	<p>おかあさんたちが地域の人たちと一緒に働く場所のリノベーションやワークショップに参加することで、おかあさんたちが仲間を呼んでくるようになり、自分の家のように働く場所に対して愛着を持っている</p>	<p>2023年 2月</p>	<p>テラまち雑貨店の使い方の可能性が徐々に広がりつつあり、テラまち雑貨店で働いているおかあさんが、別のおかあさんを誘ったりと仲間の輪が広がる可能性が見えつつある。</p>



事業のアウトカムの進捗評価	評価結果の考察
<p>事業のアウトカムの進捗の程度は、事業終了時には</p> <p><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値を上回っての達成の見込みがある</p> <p><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成の見込みがある</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値はおおむね達成できる見込みがある</p> <p><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成は不透明である</p> <p><input type="checkbox"/> 短期アウトカムの目標値の達成は難しい</p> <p>と自己評価する</p>	<p>2021 年度中は、コロナ禍ということもあり思うようにおかあさんたちの雇用ができていなかったが、2022 年 4 月 24 日のテラまち雑貨店のグランドオープンを機に、週 3 程度で定期的に雑貨店での仕事に入ってくれるおかあさんが見つかったこと、それを支えようと仕事ではないが雑貨店の運営に関わってくれるおかあさんたちが複数名見えてきたことで、短期アウトカムの目標値が達成できそうな目途が立った。今後はさらにおかあさんたちが仲間を呼んでくれるように、テラまち雑貨店の新しい使い方や地域の中での在り方について、おかあさんたちともに検討していきたい。</p>

B) 事業の改善状況の評価

① 事業の実施過程・事業改善に関する評価

評価項目	評価小項目	評価結果	考察
実施状況の適切性	1. 活動は事業計画どおり実施されているか 2. 事業を実施するうえでの阻害要因が発生していないか 3 設定した目標に対し、当事業の課題としていた事項の解消に向けた活動の進捗は明確か	やや未達	2021 年度中は、コロナ禍ということもあり思うようにおかあさんたちの仕事を依頼することができなかった。特に募集の段階で子育て支援センターの閉鎖や南砺市の協力を得られなかったことで苦戦した。ただし、テラまち雑貨店での仕事に興味を持ってくれるおかあさんたちは一定数いることがわかったため、2022 年 4 月以降から順次雇用を開始している。
実施をとおした活動の改善、知見の共有	アウトプットに影響を与えた要因や今後留意すべき内容は明確か	ほぼ達成	活動の改善については、随時南砺市幸せ未来基金事務局の担当者、当団体メンバー内での打ち合わせをしながらスケジュールの見直しを行っている。またその際に南砺市幸せ未来基金事務局の担当者から他地域のケースなどを共有してもらい、当団体の活動の改善に反映できそうなところを検討している。
組織基盤強化・環境整備	1 事業の運営管理体制に問題が生じていないか 2 組織の財務状況に問題が生じていないか	やや未達	事務手続きや会計作業をお手伝いしてもらえるおかあさんをもう少し増やしていきたい。また、テラまち雑貨店が 4 月に起きた暴風災害のためにガラスドアが破損するなどの被害を受けてしまったため、クラウドファンディングなどの手法を使いながら、今後補修作業を進めたい。

② 短期アウトカムの状態の変化・改善に貢献した要因や事例

東本願寺の寺院活性化プロジェクトで実施したコーディネーター研修を当団体のスタッフで受講した。今後、テラまち雑貨店を地域の人たちとともにどのように活用していくのかを考え、テラまち雑貨店のコンセプト「今日やっているかな」を考えた。コンセプトを踏まえ、おかあさんたちに雑貨店をあけてもらうのは毎日でなくてもよい、雑貨店は商業目的の場ではないこと、やりたいと思う人がやりたいことをやるという基本方針をメンバー内で再確認することができた。また、地域の人たちに雑貨店をどんどん活動してもらえるようにすること、雑貨店をチャレンジショップのようにして店舗を持たないおかあさんたちにテスト販売の場としても活用してもらおうという考えをまとめた。その考えを実現するために、メンバー一人ひとりが企画を考え、地域の人たちを巻き込んで坊主バーやぬりえワークショップ、腕輪念珠づくりワークショップ、ミシンをつかったワークショップ、絵画の展覧会などを企画し実施することができた。このような取り組みを続けながら、地域の人たちとおかあさんたちの接点を増やしていきたい。

③ 事前評価時には想定していなかった成果

テラまち雑貨店が新聞など様々なメディアに取材いただいたことで、地域の方々から雑貨店でやってみたいことを相談いただいたり、雑貨店のことをテレビや新聞で見て来たという声をたくさんいただくようになった。また、若い女性や子連れの家族などこれまで瑞泉寺ではあまり見ることのなかった世代の人たちがテラまち雑貨店を訪れてくれたことで、瑞泉寺や井波のまちのことをお伝えすることができた。さらに、子どもを連れておかあさんがワークショップに参加してくれたことで、日々の子育ての悩みなどを雑貨店のおかあさんたちと共有する姿が見られた。このことから、本事業の目的である子育て中の女性の社会的孤立の解消の一端を雑貨店での取り組みが担えていると考えられる。



④ 事業計画の改善の必要性の確認

- 社会課題のニーズに事業計画の内容は合致している
- 受益者や事業対象グループのニーズに事業計画の内容は合致している
- 事業計画に記載している活動は、アウトプット⇒アウトカムへのつながりが実際に確認できている
- 残りの期間の資金配分・人員体制・スケジュールは活動を円滑に行えるよう計画されている
- 短期アウトカム指標は、事後評価時に測定し、達成度を評価することが可能な内容になっている



事業の改善状況の評価結果	評価結果の考察
<p>残りの事業期間で、事業が短期アウトカムを達成するために</p> <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 事業計画は適切に改善されたといえる <input checked="" type="checkbox"/> 事業計画を適切に改善する見込みがある <input type="checkbox"/> 事業計画の改善について、課題が残っている <p>と自己評価する</p>	<p>4月に起きた暴風災害のためにガラスドアが破損するなどの被害を受けたことを踏まえ、雑貨店の改修について当団体内で検討を進めている。今後実施を予定しているクラウドファンディングの進捗状況によっては、雑貨店の改修をどのように進めるかを再検討していかなければならない。したがって、事業計画の見直しが必要になることも想定されるため、このような評価結果とした。</p>

添付資料

- 1.中間評価実施前の事業計画
- 2.評価計画書